

ビジネス+IT

ITと経営の融合でビジネスの課題を解決

BtoBマーケティングの第一人者と、カリスマ営業コンサルが、日本のBtoBビジネスを切り裂く
～トップマーケターとトップセールスがリード活用ノウハウを公開～

ご来場・アンケート記入で
メモ帳を
プレゼント!

イベント・セミナー IT導入支援 CIOインタビュー 事例 連載 ニュース 文字サイズ 中大 サイト内を検索する

ビジネス課題別で探す	事業拡大	営業戦略	コスト削減	組織改革	生産・製造	危機管理	コンプライアンス	省エネ・環境対応	業種・規模別
ITジャンル別で探す	IT戦略	基幹系	情報系	運用管理	セキュリティ	ネットワーク	モバイル	ハードウェア	開発

トップページ > 業種・規模別 > 医療IT > 遠隔医療が「本当に」離島や過疎地を救いはじめた

関連ジャンル 医療IT 地方創生・地域経済

ツイート G+ 共有 Pocket BI チェック シェア 4

2016年12月06日

9割の医師が「進む」と回答

遠隔医療が「本当に」離島や過疎地を救いはじめた

2015年8月に医師と患者間の「遠隔診療」が事実上解禁されて1年余り。医師がテレビ電話などを通じて患者を診療したり、専門医がかかりつけ医に指示を出したりする遠隔医療への注目が高まっている。岡山県新見市や医療福祉総合特区の香川県でこれまで、患者の遠隔診療実証実験や中核病院による地域診療所支援が続けられてきたが、新たに宮崎県日南市でも無医地区の患者に対する遠隔診療の実証実験が始まった。高齢化社会は今後さらに進行する見通しだけに、日本遠隔医療学会会長の原量宏香川大学瀬戸内圏研究センター特任教授（医療情報学）は「遠隔医療は離島や過疎地の住民に欠かせない」とみている。

執筆：政治ジャーナリスト 高田 泰（たかだ たい）



テレビ電話を通じて患者のケアについて意見を交わす新見医師会のスタッフら
(写真提供：新見医師会)

<目次>

1. [中核病院と地域の診療所で患者情報を共有](#)
2. [テレビ電話で医師やケアマネージャーらが患者を指導](#)
3. [無医地区の患者を対象に中核病院の医師が遠隔診療](#)
4. [遠隔医療の普及における課題とは](#)

中核病院と地域の診療所で患者情報を共有

医師同士が助け合う仕組みを早くから構築したのが香川県だ。県内には瀬戸内海に浮かぶ24の有人離島があり、山間の過疎地も多い。医師は本土の都市部に偏在しているため、離島や過疎地の患者は専門医の治療をなかなか受けられなかった。

離島に暮らす妊婦は胎児の異常で

関連記事

- 1. [横浜市 経済局長 林氏xデータ分析家 柏木氏、「データ活用の本質は“分析前”にある」](#)
- 2. [「まるで空気を運んでいる」、半数超赤字の「三セク鉄道」に活路はあるか](#)
- 3. [大阪万博 半世紀ぶりに招致へ、「経済効果6兆円」で関西復興の夢はかなうのか](#)
- 4. [愛媛のへき地で年間3000万の赤字…医療法人ゆづの森はいかにして「再生」したのか](#)

会員登録（無料） 会員ログイン
ビジネス+IT プレミアム会員のメリットとは？

IT導入支援情報の注目ランキング

- 1. SFA導入の罠、自社の営業プロセスをなぜツールに合わせる必要があるのか
- 2. なぜMAや営業支援ツールだけではうまく案件化につながらないのか？
- 3. 使い慣れたWord、Excelをそのまま回覧できる、ユーザー目線のワークフローとは？
- 4. データ活用進展で「板挟み」に陥る3つの課題、こうすれば解決できる
- 5. 住まい探しのHOME'Sとラーニングイット対談、売上増につなげるコールセンター構築法

注目のイベント・セミナー情報

- 【東京都】 2016/12/13開催
[デジタル マーケティング マネジメント デイ 2016 W...](#)
- 【東京都】 2016/12/13開催
[コールセンターマネジメントセミナー 2016 Winter](#)
- 【東京都】 2016/12/06開催
[次世代セキュリティプラットフォームセミナー](#)
- 【東京都】 2016/12/07開催
[ワークフローシステム選定ポイント・導入事例ご紹介...](#)
- 【東京都】 2016/12/09開催
[SUSE OPEN FORUM JAPAN 2016](#)

イベント・セミナー情報の掲載（無料）

12/13
基調講演 中央大学ビジネススクール大学院 教授 田中 洋 氏
デジタル時代のマーケティング新潮流
デジタル マーケティング マネジメント デイ 2016

流産の危険があるのに、半日もかけて通院している状態だった。1980年に助教として香川大学病院に赴任した原教授は、胎児の心音をとらえる携帯型装置を手渡し、送られてくるデータをパソコンで管理した。

- 地方では銀行も限界か、再編が進むのには理由がある
- 今年も「三セク」が続々と破綻する理由
- 豊洲だけじゃない！「土壌汚染」は全国に90万カ所以上ある

▼ すべて表示

こうした経験から、原教授の呼びかけでスタートしたのが、中核病院と地域の診療所をインターネットで結ぶ患者情報の共有システム「かがわ遠隔医療ネットワーク」（K-MIX）だ。2003年度からスタートした事業で、通信回線を通して患者データを中核病院と地域の診療所が共有し、専門医の助言を受けながら診療する。

離島や過疎地に暮らしていても遠くの中核病院までわざわざ通う必要がない。日々の健康管理は地域の医師に任せ、万一のときは中核病院の専門医がかりつけ医を通じて対処してくれる。



(クリックで拡大)

中核病院の患者の診療情報を病院間でやり取りして治療に役立てる K-MIX+ の仕組み

(写真提供：香川県医師会)

2014年度からは中核病院の患者のカルテなど、診療情報を病院間でやり取りして治療に役立てる機能をK-MIXに追加した「かがわ医療情報ネットワーク」（K-MIX+）もスタートさせた。検査や薬剤投与の重複を抑えられる効果もあり、現在129の医療機関が参加している。

さらに、「オリーブナース」と名づけた訪問看護師がタブレット端末を持って患者の家庭を回り、病院にいる医師の指示を受けながら訪問看護する制度も2013年度から始めている。何か異常があれば、その場で医師が遠隔診療できるのが強みだ。香川県医務国保課は「これらの取り組みを通じて離島や過疎地域に質の高い医療を提供していきたい」と狙いを語る。

テレビ電話で医師やケアマネージャーらが患者を指導

岡山県北部の新見市は患者と直接向き合う遠隔診療のバイオニアといえる。新見市は面積790平方キロと県面積の1割以上を占めるが、人口は約3万1,000人で、65歳以上が全人口に占める割合を示した高齢化率は38.4%に達している。

しかし、医療機関は街の中心部に集まり、医師不足が続く。日本医師会のまとめでは、市内の医師数は人口10万当たり159.43人、全国平均の244.12人を大きく下回っている。

2008年に市内全戸に光ファイバーが敷設されたのを受け、新見医師会は市

IBM

リーディング企業のデータ活用術

SPSSの活用事例

- ✓ 顧客反応を予測しROI改善
- ✓ 顧客体験を最適化するレコメンデーション

対談 変化への飽くなき挑戦が、ビジネスに革新をもたらす

インテル® Core™ i5プロセッサ搭載
Intel Inside® 飛躍的な生産性を

記事アクセスランキング

- 1 「一足飛びの」完全自動運転で、自動車業界と損保業界が危機的状況に陥る理由
- 2 待機児童問題解決へ、「オトナな保育園」は未来を作るか
茶々保育園グループ CEO 迫田健太郎 氏に聞...
- 3 人工知能とロボットの関係、「自動運転」で考えれば分かりやすい
森山和道の「ロボット」基礎講座
- 4 ドローン・ジャパン春原久徳氏が解説する2020年ドローン市場、産業構造、活用事例
- 5 マイケル・ポーター教授が語るIoT競争戦略、そこになぜ「ヒト」が必要なのか

イベント・セミナー情報アクセスランキング

- 1 【東京都】 2016/12/13開催
デジタル マーケティング マネジメント デイ
2016 Winter
- 2 【東京都】 2016/12/06開催
次世代セキュリティプラットフォームセミナー
- 3 【東京都】 2016/12/13開催
コールセンターマネジメントセミナー 2016 Winter
- 4 【東京都】 2016/12/07開催
Kinexions TOKYO 2016 (キネクションズ 東京 2016)
- 5 【東京都】 2016/12/09開催
【東京開催】 Office 365 と Skype for Business が 切り拓く 「働き方改革」 ...

事業拡大により急募！
ビジネス+IT 編集職 募集中

内の医療施設にテレビ電話を設置、訪問看護師が患者の家庭に携帯端末を持ち込み、医師が診療する実証実験をスタートさせた。

この経験を生かして今年から始めたのが地域包括ケアの多職種連携会議で、訪問看護師が持ち込んだテレビ電話で患者の自宅と新見医師会の在宅医療・介護連携支援センターを結び、医師、リハビリ指導員、ケアマネージャーらが患者を指導する。所用でセンターに集まらない職員もテレビ電話を使って会議に参加できる。

患者は認知症や脳梗塞、がんなどで在宅ケアが必要な約30人で、週に1、2回、訪問看護師が遠くの人なら片道40キロの距離を駆けつけ、在宅ケアしている。新見医師会の太田隆正会長は「診療だけでなく、リハビリや生活指導も1度に行える。患者の立場で考えたら、こうした取り組みこそ求められているのではないか」と力を込めた。

[【次ページ】遠隔医療の普及を阻む課題とは](#)

1 2 [次へ>](#)

お勧め記事

[急増する「訪問看護」とはいったい何か？ 日本医療の「惨状」を救えるのか](#)

医療IT ジャンルのトピックス

[一覧へ](#)

- [6つの販社統合で複雑化…ココカラファインがクラウド化で実現した1,300店舗改革](#)
- [医療の包括払い制度、アウトカム評価とは何か？ 従来と何が違ってどういうメリットがあるのか](#)
- [愛媛のへき地で年間3000万の赤字…医療法人ゆうの森はいかにして「再生」したのか](#)
- [急増する「訪問看護」とはいったい何か？ 日本医療の「惨状」を救えるのか](#)
- [訪問看護事業経営者に聞く「看護師のモチベーションの支え方」](#)

医療IT ジャンルのIT導入支援情報

[一覧へ](#)

- [現在の医療現場が抱える情報共有とネットワーク、そして看護師勤務の課題とは](#)
- [【特集】医療業務を変革するIT活用の実践事例](#)

関連キーワード [地方創生記事](#) [高田泰](#) [医療IT記事](#)

- PR
- [【12/16】ジャーナリスト 津田大介氏が語る！ビジネスチャットの「実効力」](#)
 - [【12/20】BtoBマーケの第一人者×クリスマス営業コンサルが登場！リードマネジメントで売上加速](#)

[▲ このページのTOPへ](#)

ビジネス課題別で探す

- ▶ 事業拡大
- ▶ 営業戦略
- ▶ コスト削減
- ▶ 組織改革
- ▶ 生産・製造
- ▶ 危機管理
- ▶ コンプライアンス
- ▶ 省エネ・環境対応
- ▶ 業種・規模別

ITジャンル別で探す

- ▶ IT戦略
- ▶ 基幹系
- ▶ 情報系
- ▶ 運用管理
- ▶ セキュリティ
- ▶ ネットワーク
- ▶ モバイル
- ▶ ハードウェア
- ▶ 開発

種別で探す

- ▶ イベント・セミナー
- ▶ IT導入支援
- ▶ CIOインタビュー
- ▶ 事例
- ▶ 連載
- ▶ ニュース

[▶ ビジネス+ITとは](#) | [▶ サイトマップ](#) | [▶ お問い合わせ](#) | [▶ RSSについて](#) | [▶ メールマガジンの登録](#) | [▶ 広告のご案内](#) | [▶ 会員規約](#)
[▶ 情報セキュリティポリシー](#) | [▶ 個人情報について](#) | [▶ サイトポリシー](#) | [▶ 会社案内](#)

SBクリエイティブ株式会社

ビジネス+ITはソフトバンクグループのSBクリエイティブ株式会社によって運営されています。

Copyright © SB Creative Corp. All rights reserved.

ビジネス+IT

ITと経営の融合でビジネスの課題を解決

BtoBマーケティングの第一人者と、カリスマ営業コンサルが、日本のBtoBビジネスを切り裂く
～トップマーケターとトップセールスがリード活用ノウハウを公開～

ご来場・アンケート記入で
メモ帳を
プレゼント!

イベント・セミナー IT導入支援 CIOインタビュー 事例 連載 ニュース 文字サイズ 中大 サイト内を検索する

ビジネス課題別で探す	事業拡大	営業戦略	コスト削減	組織改革	生産・製造	危機管理	コンプライアンス	省エネ・環境対応	業種・規模別
ITジャンル別で探す	IT戦略	基幹系	情報系	運用管理	セキュリティ	ネットワーク	モバイル	ハードウェア	開発

トップページ > 業種・規模別 > 医療IT > 遠隔医療が「本当に」離島や過疎地を救いはじめた > 2ページ目

関連ジャンル 医療IT 地方創生・地域経済

ツイート G+ 共有 Pocket BI m チェック f シェア 4

2016年12月06日

9割の医師が「進む」と回答

遠隔医療が「本当に」離島や過疎地を救いはじめた (2/2)

無医地区の患者を対象に中核病院の医師が遠隔診療

遠隔医療には大きく分けて2つのタイプがある。1つは現場で患者を診察する医師と大学病院などの専門医が情報を共有し、専門医の指示で治療を施すタイプだ。患者のX線写真や眼底写真を専門医に送り、指示を仰ぐケースが多い。患者や医師ではなく、情報を動かして医療過疎を克服しようというわけだ。

もう1つが遠隔地にいる医師がテレビ電話などを通じ、直接患者を遠隔診療するタイプ。症状が安定していることが条件となるが、患者は医療機関へ出向かずに診療を受けることができる。処方箋や薬を自宅に届けてもらうことも可能だ。

国内ではこれまで、医師間の遠隔医療には法的な問題がなかった。医師と患者の遠隔医療は、対面診療を原則とする医師法の規定で禁止されていたが、1997年に離島や過疎地、2003年に安定期にある慢性疾患患者の一部で可能になり、2015年の厚生労働省通知で解釈の幅を広げ、事実上の解禁となった。

これを受け、宮崎県日南市は、市中心部にある市立中部病院の医師が無医地区の慢性疾患患者を遠隔診療する実証実験を6月から始めている。

対象となるのは同市北郷町大戸野、山仮屋の両地区。森林に囲まれた典型的な山村で、合計46世帯、84人が暮らしているが、高齢化率は40%を上回る。これまでは中部病院の医師が巡回診療をしていた。

北郷町の公民館と中部病院をテレビ電話で結び、タブレットを通じて診察する。毎月の実証実験には地区内の患者2～3人が集まっており、「気軽に医師へ相談できるようになった」など反応は上々だ。

日南市地域医療対策室は「巡回診療は医師や看護師に負担が大きく、通院は高齢の患者に大変だった。遠隔医療は無医地区の医療を確保する方法の1つと期待できる」と喜んでいる。

遠隔医療の普及には診療報酬加算が必要

地方の高齢化進行には当面、歯止めがかかりそうにない。厚労省のまとめによると、半径4キロ以内に50人以上が暮らしながら、簡単に医療機関を受診できない無医地区は、2014年10月末現在で全国に705カ所ある。

無医地区の数自体は前回の2009年調査に比べて68カ所減り、過去最少となった。しかし、人口減少で地区人口が50人未満となり、無医地区に数えられなくなったケースや消滅した集落もある。医師不足が解消されつつあるわけではない。国はようやく医学部の増設に動き始めたが、むしろ遠隔医療に頼らざる

会員登録 (無料) 会員ログイン

ビジネス+IT プレミアム会員のメリットとは?

IT導入支援情報の注目ランキング

- SFA導入の罫、自社の営業プロセスをなぜツールに合わせる必要があるのか
- なぜMAや営業支援ツールだけではうまく案件化につながらないのか?
- 使い慣れたWord、Excelをそのまま閲覧できる、ユーザー目線のワークフローとは?
- データ活用進展で「板挟み」に陥る3つの課題、こうすれば解決できる
- 住まい探しのHOME'Sとラーニングイット対談、売上増につなげるコールセンター構築法

注目のイベント・セミナー情報

- 【東京都】 2016/12/13開催
デジタル マーケティング マネジメント デイ 2016 W...
- 【東京都】 2016/12/13開催
コールセンターマネジメントセミナー 2016 Winter
- 【東京都】 2016/12/06開催
次世代セキュリティプラットフォームセミナー
- 【東京都】 2016/12/07開催
ワークフローシステム選定ポイント・導入事例ご紹介...
- 【東京都】 2016/12/09開催
SUSE OPEN FORUM JAPAN 2016

イベント・セミナー情報の掲載(無料)



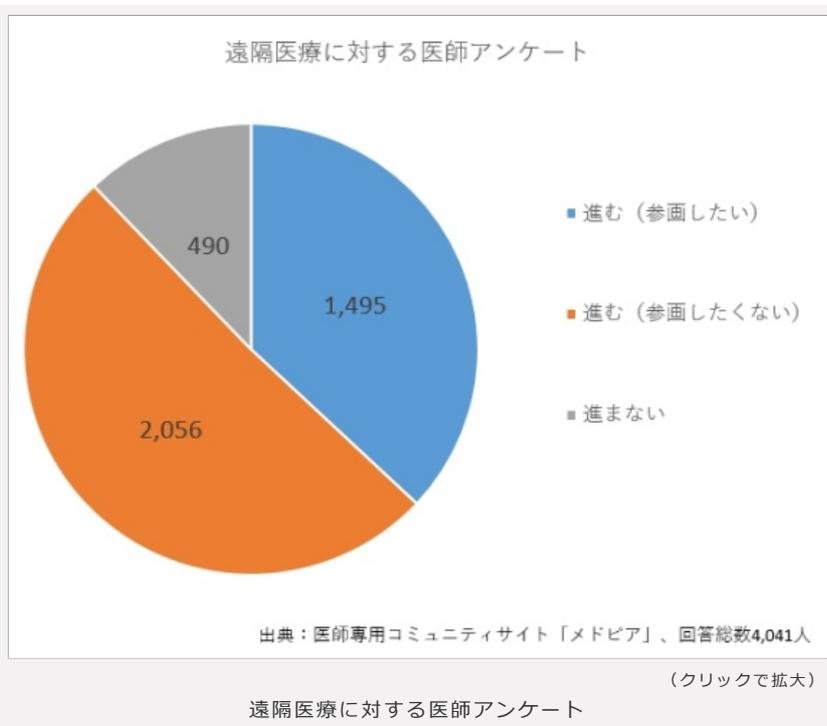
るを得ない人が増えているのが実情だ。

民間企業や開業医の間では厚労省の通知以降、遠隔医療に対する関心が高まっている。マーケット調査会社の富士キメラ総研は2020年に遠隔医療システムの市場が2014年の2倍の20億円になると推計しているが、開業医の中には実施をためらう人も少なくない。

普及を妨げているのは診療報酬の低さだ。原教授は「電話再診と同じくらいでしかなく、対面診療の半分もない。これでは公立や公的病院でなければ積極的に進めにくい。少なくとも対面診療並みに引き上げるべきだ」と指摘する。

この声に歩調を合わせるように、11月に開かれた経済産業省の産業構造審議会で医療、介護へのIT導入を議論した際、「遠隔医療の普及に診療報酬の加算が必要」との声が上がった。今後、政府内で協議し、引き上げに向けて動きそうな気配だ。

医師専用コミュニティサイト「メドピア」が今春、会員4,041人に遠隔医療の先行きについてアンケート調査したところ、全体の87.9%に当たる3,511人が「進む」と回答した。「高齢化や過疎の進行を考えると進めざるを得ない」、「田舎や離島ではどうしても必要」などの声が寄せられている。



医師のいない離島や過疎地に暮らしていても、体調が悪くなったらスマートフォンやタブレットで医師の診断を受け、オンラインで処方箋が発行される時代が、すぐそこまで来ているのかもしれない。

関連記事

- 医療の包括払い制度、アウトカム評価とは何か？従来と何が違ってどういうメリットがあるのか
- 愛媛のへき地で年間3000万の赤字…医療法人ゆうの森はいかにして「再生」したのか
- 急増する「訪問看護」とはいったい何か？日本医療の「惨状」を救えるのか
- バイオ研究と「メーカーズ」のつながりは、人類に何をもたらすか
- 薬事法改正から2年、日本はもうすぐ「再生医療」で世界になれる
- サ高住、「待機老人」50万人で3倍の急成長でも迎える正念場
- オーソライズド・ジェネリック (AG) は、ジェネリック医薬品業界の「救世主」となるか
- キャノンの東芝メディカル買収、画像診断事業参入に「6655億円」はお得な買い物か？
- 臨床検査機器のシスメックス、大躍進の裏に「ICT」と「自動化」あり

IBM

リーディング企業のデータ活用術

SPSSの活用事例

- 顧客反応を予測しROI改善
- 顧客体験を最適化するレコメンデーション

大那製作所は経営計画を実現できるのか？

インテル® Core™ i5 プロセッサ搭載
Intel Inside® 飛躍的な生産性を

記事アクセスランキング

- 「一足飛びの」完全自動運転で、自動車業界と損保業界が危機的状況に陥る理由
- 待機児童問題解決へ、「オトナな保育園」は未来を作るか
茶々保育園グループ CEO 迫田健太郎 氏に聞...
- 人工知能とロボットの関係、「自動運転」で考えれば分かりやすい
森山和道の「ロボット」基礎講座
- ドローン・ジャパン春原久徳氏が解説する2020年ドローン市場、産業構造、活用事例
- マイケル・ポーター教授が語るIoT競争戦略、そこになぜ「ヒト」が必要なのか

イベント・セミナー情報アクセスランキング

- 【東京都】 2016/12/13開催
デジタル マーケティング マネジメント デイ 2016 Winter
- 【東京都】 2016/12/06開催
次世代セキュリティプラットフォームセミナー
- 【東京都】 2016/12/13開催
コールセンターマネジメントセミナー 2016 Winter
- 【東京都】 2016/12/07開催
Kinexions TOKYO 2016 (キネクションズ 東京 2016)
- 【東京都】 2016/12/09開催
【東京開催】 Office 365 と Skype for Business が 切り拓く 「働き方改革」 ...

事業拡大により急募！
ビジネス+IT 編集職 募集中

この記事のご感想をお聞かせください。～遠隔医療が「本当に」離島や過疎地を救いはじめた（m）

ご投稿いただいた内容は、個人情報を含まない形で今後の編集の参考や弊社メディアでご紹介させていただくことができます。あらかじめご了承ください。（正しくご投稿いただいた場合、このアンケートフォームは今後表示されません）

1 この記事はあなたの業務に役立ちましたか？

- 1. 非常に役に立った
- 1. メールマガジン「ビジネス+IT通信」
- 2. 役に立った
- 2. 「ビジネス+IT」トップページ
- 3. 普通
- 3. 検索エンジン
- 4. あまり役に立たない
- 4. 上司、同僚等からの紹介
- 5. 全然役に立たない
- 5. その他

2 あなたはこの記事をどこで知りましたか？

3 この記事のご感想やご意見など、ご自由にお書きください

確認する



政治ジャーナリスト 高田 泰（たかだ たい）

1959年、徳島県生まれ。関西学院大学社会学部卒業。地方新聞社で文化部、地方部、社会部、政経部記者、デスクを歴任したあと、編集委員を務め、吉野川第十堰問題や明石海峡大橋の開通、平成の市町村大合併、年間企画記事、こども新聞、郷土の歴史記事などを担当した。現在は政治ジャーナリストとして活動している。徳島県在住。

お勧め記事

[急増する「訪問看護」とはいったい何か？ 日本医療の「惨状」を救えるのか](#)

医療IT ジャンルのトピックス

[▶ 一覧へ](#)

- [6つの販社統合で複雑化…ココカラファインがクラウド化で実現した1,300店舗改革](#)
- [医療の包括払い制度、アウトカム評価とは何か？従来と何が違ってどういうメリットがあるのか](#)
- [愛媛のへき地で年間3000万の赤字…医療法人ゆうの森はいかにして「再生」したのか](#)
- [急増する「訪問看護」とはいったい何か？ 日本医療の「惨状」を救えるのか](#)
- [訪問看護事業経営者に聞く「看護師のモチベーションの支え方」](#)

医療IT ジャンルのIT導入支援情報

[▶ 一覧へ](#)

- [現在の医療現場が抱える情報共有とネットワーク、そして看護師勤務の課題とは](#)
- [【特集】医療業務を変革するIT活用の実践事例](#)

関連キーワード [地方創生記事](#) [高田泰](#) [医療IT記事](#)

ビジネス課題別で探す

- ▶ 事業拡大
- ▶ 営業戦略
- ▶ コスト削減
- ▶ 組織改革
- ▶ 生産・製造
- ▶ 危機管理
- ▶ コンプライアンス
- ▶ 省エネ・環境対応
- ▶ 業種・規模別

ITジャンル別で探す

- ▶ IT戦略
- ▶ 基幹系
- ▶ 情報系
- ▶ 運用管理
- ▶ セキュリティ
- ▶ ネットワーク
- ▶ モバイル
- ▶ ハードウェア
- ▶ 開発

種別で探す

- ▶ イベント・セミナー
- ▶ IT導入支援
- ▶ CIOインタビュー
- ▶ 事例
- ▶ 連載
- ▶ ニュース

- ▶ [ビジネス+ITとは](#) | ▶ [サイトマップ](#) | ▶ [お問い合わせ](#) | ▶ [RSSについて](#) | ▶ [メールマガジンの登録](#) | ▶ [広告のご案内](#) | ▶ [会員規約](#)
- ▶ [情報セキュリティポリシー](#) | ▶ [個人情報について](#) | ▶ [サイトポリシー](#) | ▶ [会社案内](#)

SBクリエイティブ株式会社

ビジネス+ITはソフトバンクグループのSBクリエイティブ株式会社によって運営されています。

Copyright © SB Creative Corp. All rights reserved.